

令和8年 春季号

仙台市

農業委員会だより

The Newsletter of the Agricultural Committee

編集・発行／仙台市農業委員会

仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

電話 022(214)4308(直通)

FAX 022(215)5803

発行日／令和8年5月1日



仙台市農業委員会 または で検索



▲赤間会長(左)と佐々木経済局次長(右)



▲出席した農業委員

「農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書」への回答をいただきました

本委員会が昨年7月に仙台市へ意見・提案をした「施策の改善に関する意見書」に対して、2月2日(月)に郡和子仙台市長からの回答をいただき、経済局から詳しい内容の説明を受けました。

◎意見・要望に対する回答(抜粋)

1 担い手への農地利用の集積・集約化

・地域計画の達成に向け、農業委員会等と協議をしながら、農用地の効率的かつ総合的な利用に向けた取組みを検討し、農地集積を推進します。

2 遊休農地の発生防止・解消

・遊休農地の発生防止に活用できる多面的機能支払交付金制度については、助成対象範囲の拡大に向けた取組みを進めており、また、事務の省力化につながる必要書類の簡素化を引き続き宮城県に要望します。

3 担い手支援の充実強化

・電話や面談での個別相談や新規就農希望者研修支援事業等、多様な担い手の育成に向けて関係機関と連携しながら、引き続き支援してまいります。

4 地産地消の推進

・市内産農産物のブランド化、販路・消費拡大、インスタグラム等を活用した地産地消の情報発信を行います。
・学校給食の担当課と連携し、栄養士向け生産者交流会の開催や調理師向け研修会での地場農産物のPR等、引き続き学校給食食材利用への働きかけを行います。

5 鳥獣被害対策

・市鳥獣被害対策実施隊等の捕獲活動を継続するとともに、専門家を捕獲対策へ取り込む地域に派遣し、捕獲に係る助言を通じて地域の捕獲活動の効率化を図ります。
・鳥獣被害防止対策については、既存の柵の補強や箱わな等の貸与等、今後も国や県等の補助を最大限活用し、必要な予算確保に努めます。

令和8年度仙台市農業委員会業務計画

I 業務方針

我が国の農業・農村は、農業者の高齢化・担い手不足、遊休農地の発生や鳥獣被害の拡大など、依然として厳しい状況が続いています。また、円安による農業用資材、飼料価格の高止まりが継続しており、更に新たな紛争の発生によって、原油や肥料の価格高騰の長期化も予想され、農業経営に多大な影響を及ぼし、農業所得が減少するなど大きな打撃を受ける恐れがあります。

加えて、近年、異常気象に伴う豪雨や猛暑等の自然災害が頻発し、農業生産活動に大きな影響を与えていることから、農業者自らも自然災害や気候変動に備えていく必要があります。

令和6年5月には、国の食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の確保」が基本理念として位置づけられました。一方では、米の需要と供給のバランスが崩れ、混乱が生じたため、今後、生産調整のあり方や、食料の合理的な価格形成の仕組みの構築など、各種施策の検討と具体化、そして国民理解の醸成が期待されています。

このような中、今まで以上に本市農業の健全な発展に寄与するためには、農業委員と農地利用最適化推進委員が両輪となり、農地利用の最適化を確実に推進することがますます重要となっています。その役割と責任を十分に果たすよう、農地法の許可審査をはじめ、農業者と連携を図りながら、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を基に、実効性のある地域活動を推進するものです。

具体的には、第一に「担い手への農地利用の集積・集約化」、第二に「遊休農地の発生防止・解消」、第三に「新規参入の促進」の3つの目標を同指針に掲げ、宮城県農地中間管理機構やJ A仙台と連携して、担い手となる認定農業者や生産組織等を育成し、農地の利用集積・集約化を進めるとともに、農地パトロールによる遊休農地の調査と指導・違反転用農地の是正指導、更には農外からの新規就農の促進などを行い、地域農業の持続的な発展に資するよう取り組んでいきます。

また、農業者が農業所得の安定・向上に取り組めるよう支援するとともに、令和6年度末に策定された「地域計画」の目標達成に向けて役割を果たしていきます。

本農業委員会では、令和8年度業務計画の着実な取り組みとその成果を上げるため、農業委員及び農地利用最適化推進委員が一致団結し、業務を遂行していきます。

II 活動計画（抜粋）

1 農地行政活動

- ・農地法及びその他の法令によりその権限に属する事項の審議
- ・「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」の実行

2 農業振興活動

- ・地域振興活動の推進



クマ被害防止のための刈りはらい費用を助成します!!

草木が伸び管理が行き届いていない農地や、農地周辺の藪での刈りはらい作業が対象となります。

●対象者 仙台市内に所在をおく農業者により組織される団体または町内会など

●申請期間 令和8年5月末日まで

(締切前であっても予算上限に達した時点で受付を終了いたします。)

詳しくは、仙台市経済局農林部農林企画課農地活用係
(電話 214-8334) まで。



農林企画課
農地活用係



農地法第3条の許可実績

令和7年11月から令和8年2月までの農地法第3条(売買・賃借等)の許可実績です。

区	11月		12月		1月		2月		計	
	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
青葉	0	0	1	14,899	3	2,815	1	3,322	5	21,036
宮城野	1	1,932	1	3,508	0	0	0	0	2	5,440
若林	1	8,104	0	0	1	3,555	1	2,863	3	14,522
太白	1	3,683	2	13,359	0	0	0	0	3	17,042
泉	1	2,996	0	0	2	7,891	3	19,952	6	30,839
計	4	16,715	4	31,766	6	14,261	5	26,137	19	88,879

仙台市

農業まめ知識⑤/全⑧

【市内の主な水田転作作物】

- 大豆(ミヤギシロメなど)
- 大麦・小麦
- 地域在来種の蕎麦
- 園芸作物(枝豆、雪菜、ネギ、ブロッコリー等)
- 飼料用作物

ポテトチップスの原料となる加工用馬鈴薯を契約栽培している農業法人もあります!

売渡 あっせん 希望農地 一覧

農業振興地域の農用地域域内において、農地の経営規模の拡大、集団化等農地保有の合理化を図るため、「農地の移動適正化あっせん事業」を行っています。あっせん事業による農地の買受申出ができる方は、「認定農業者・認定新規就農者」または「仙台市内の農地を 130 アル以上耕作している方」です。

令和8年4月1日現在

区	所在地		地目	面積 (㎡)	希望価格 (万円/10a)	区	所在地		地目	面積 (㎡)	希望価格 (万円/10a)	区	所在地		地目	面積 (㎡)	希望価格 (万円/10a)
	大字	小字					大字	小字					大字	小字			
青葉区	芋沢	青野木	田	2,249	50	宮城野区	蒲生	東通	田	2,767	200	若林区	井土	南浦	田	830	100
	大倉	西田	田	866	100		元切	田	1,951	200	今泉		久保田東	田	1,130	100	
	上斐子	赤生木	田	2,224	150		細川	田	1,198	70	今泉		鹿子穴	田	1,030	300	
		岩元前	田	2,050	100		小鶴	新境	田	1,441	250		今泉	北門	田	1,990	300
		籾道上	田	23	100		鶴ヶ谷	大谷	田	1,505	150		沖野	高野南	田	3,059	150
宮城野区	岩切	昭和西	田	2,061	400	若林区	荒井	金堀	田	712	150	若林区	高野南	田	3,132	1,000	
		昭和南	田	1,695	400		揚場	田	5,571	135	三本塚		館東	田	2,070	150	
			畑	2,062	400		梅ノ木	田	3,701	500	三本塚		赤沼東	田	4,115	100	
		大正	田	505	300		神屋敷北	田	1,050	240	下飯田		中谷地	田	2,060	100	
		高江	田	1,100	400		神屋敷西	田	2,529	110	下飯田		高野東	田	5,155	120	
		中土手	田	3,050	350		軽石田	田	1,334	150	種次		屋敷北	田	3,900	200	
		岡田	岡田中	田	2,664		300	川田	田	9,765	100		種次	屋敷東	畑	285	100
			岡田東	田	2,691		200	川田	田	9,030	110		種次	屋敷南	田	1,726	100
			岡田前	田	2,631		200	川戸東	田	1,176	400		種次	寺西	田	1,340	100
			岡田南	田	4,583		150	川戸東	田	3,545	110		種次	道元	田	450	100
				田	2,631		200	北遠十丁	田	1,424	250		種次	中斎	畑	411	100
				田	3,441		350	境東	田	2,410	200		種次	南番古	田	2,030	200
				田	3,712		350	境東	田	2,227	750		種次	一本松	畑	3,335	80
				田	4,767		250	瀬戸川北	田	459	120		種次	三十刈	畑	95	100
				畑	694		290	平田	田	489	120		種次	沼田	田	980	200
				畑	545		150	藤田	田	3,695	150		種次		田	1,736	300
				田	1,421		200	藤田	田	8,913	400		種次		田	2,060	200
				田	2,837		280	藤田	田	3,056	250		種次		田	6,200	80
				田	1,853		160	藤田西	田	2,966	300		種次		田	900	80
				田	1,713		150	失取東	田	1,399	240		種次		田	4,650	300
				田	171		300	四ツ谷南	田	2,560	300		種次		田	1,131	130
				田	1,202		100	四ツ谷南	田	3,914	300		種次		田	4,761	100
				田	2,604		200	石場	田	1,747	120		種次		田	1,359	150
				田	2,146		150	石場前	田	800	120		種次		田	2,746	150
				田	1,624		200	大堀	田	1,440	300		種次		田	3,804	500
			田	2,971	150	大堀	田	3,456	800	種次		田	2,783	200			
			田	4,069	180	五枚下り	田	2,864	200	種次		田	1,991	100			
			田	2,366	150	狐塚	田	2,473	250	種次		田	3,326	100			
			田	3,059	300	七十刈	田	6,218	130	種次		田	5,924	300			
			田	3,043	70	南長沼	田	3,251	230	種次		田	4,513	80			
			田	1,183	85	山路裏	田	1,670	100	種次		田	3,031	100			
			田	1,793	190			640	100	種次		田	4,935	250			
			田	3,117	200					種次							

売渡あっせん希望農地（上表）について買受希望がありましたらお問い合わせください。ホームページでもご覧いただけます。

問い合わせ先 [事務課農地係] 電話 214-4340

農地利用最適化推進委員連絡会を開催しました

令和8年3月6日(金)に農地利用最適化推進委員連絡会を開催しました。この連絡会は、推進委員の意見交換や情報共有のため、年2回開催しています。

今回は3年間の任期の折り返しにあたることから、これまでの活動を振り返るグループディスカッションを行いました。

それぞれの担当地域の課題や成功した事例などについて意見交換を行い、最後に残りの任期に向けた抱負を話し合いました。

テーブルごとに活発な意見交換が行われ、普段関わりの少ない地域の話聞くことができ、今後の活動の参考になったなどの感想が寄せられました。



農地基本台帳の登載内容の変更について

仙台市外に所在する農地について、仙台市農地基本台帳に登載しておりましたが、新年号でご案内のとおり令和8年4月1日から登載をしないことになりました。

市外の農地については、農地が所在する農業委員会へお問い合わせ願います。

問い合わせ先 [事務課振興係] 電話 214-4308

農業者年金を受給している皆様へ

～ 現況届を提出してください ～

(独)農業者年金基金から5月下旬に「現況届」の用紙が郵送されます。**6月30日(火)までに**、最寄りのJA仙台各支店か農業委員会に、持参または郵送で提出をお願いします。

問い合わせ先 **農業者年金への新規加入 随時受付中!!**

[事務課振興係] 電話 214-4353

あなたの出番です

若林区沖野にお住まいの
たの たか ひろ

丹野 隆啓さん

にお話を伺いました。

Q 就農のきっかけは？

A 実家が農家で、父が化学肥料不使用、無農薬栽培で取り組む「有機JAS認証」を受けているところに感銘を受け2009年に就農しました。

Q 何を作っていますか？

A 米と野菜を有機栽培しており、ハウスで夏は果菜類、冬は葉菜類と花(ストック、トルコギキョウ)を作っています。

Q 農業の魅力は？

A お客さんから「新鮮だね」「美味しい」と声を掛けられるとすごく嬉しいし励みになります。また農協青年部や近隣の農家仲間、取引先の飲食店など異業種の方々との関わりは、日々の農作業と農業経営に新たな視点や刺激を与えてくれ、大変有意義なものとなっています。

Q 農業の大変なところは？

A 近年の猛暑による影響で高温対策のための資材が欠かせなくなったことや、気候に応じた品種の選定、天候不順によって作業スケジュールがずれ込んでしまうことです。



Q 今後の目標は？

A 「心とからだと環境に優しい」をモットーに、有機栽培の質をさらに高めて、これまで以上に、新鮮さと安心安全をお届けしたいです。

(聞き手：編集委員 遠藤 正彦)

法人紹介

農事組合法人 新浜協業組合

農事組合法人 新浜協業組合をご紹介します。
同法人は、昭和55年に集落営農組織として発足し、地域の中核的な役割を担ってきました。その後、平成21年に法人化され、平山尚さんを代表として



▲構成員のみなさんと代表の平山尚さん(左から2番目)

現在に至っています。

経営は順調に推移していましたが、平成23年の東日本大震災により津波被害を受け、施設や農業機械のすべてを流失。その後2年間は、農地のがれきの撤去や除草など復興作業に取り組み、現在では約80haの農地を経営するまでに復活を遂げています。

構成員は7名ですが、繁忙期には15名体制で和気あいあいと作業を進めています。

最近は作業者の高齢化が進み、従来の作業方法では身体への負担が大きいため、効率化・省力化に向けた乾田直播の導入を検討していますが、耕作地域には水はけの悪い農地が多く、思うように進められないでいる状況です。

それでも今後は、新しい技術や人材を積極的に取り入れ、地域の中心的存在としてさらに発展し、農地の維持に努めていきたいとのことでした。

(編集委員 鈴木 可和)

農業委員会事務局

青葉区二日町6-12
MSビル二日町6F
電話：214-4308



編集後記

春の陽気が心地よい今日この頃、農作業も本格的に始まり、忙しい季節となりました。

今年度も依然として物価高騰が続き、肥料や農薬などの資材価格上昇により厳しい状況ではありますが、美味しいお米や野菜、果物をたくさん収穫できるよう、強い気持ちをもって頑張りましょう。

(編集委員 相原 元浩)

お知らせ

◆◆お車で来庁される方へ◆◆ 本庁舎の建替工事ともない、本庁舎の駐車場は利用できません。勾当台公園地下駐車場又は二日町駐車場をご利用ください。農業委員会では来庁確認の手続きを行うことにより、駐車料金が原則90分まで無料となりますので、**駐車券を必ずお持ちください。**